



National Hospital Organization
Toyohashi Medical Center

独立行政法人 国立病院機構

豊橋医療センターニュース

第46号

豊橋医療センター理念

私たちは、心のこもった 医療を提供します

豊橋医療センター基本方針

- 満足していただける医療を提供し、信頼される病院をめざします
- 基本的人権を尊重し、必要な情報を提供します
- たゆまぬ研鑽に努め、すべてにおいて良質で安全な医療を提供します
- 地域と連携し、患者さんとご家族を支援します
- 安定した健全経営を維持するための努力と意識を持ち続けます



もくじ

院長の新年のご挨拶	1
外来紹介	2
地域医療連携室だより	3
トピックス1(わくわく健康フェスタ)	4
トピックス2(数年ぶりに看護師の復職を目指す方へ)	6
外来診療担当医表	裏表紙

発行責任者：山下 克也
発 行 所：独立行政法人 国立病院機構 豊橋医療センター
住 所：〒440-8510 愛知県豊橋市飯村町字浜道上 50
発 行 日：令和7年1月
ホームページアドレス：<https://toyohashi.hosp.go.jp/>



HP



Instagram

2025年 新年のご挨拶



院長 山下克也

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆さま、患者さんとご家族の皆さま、そして医療スタッフの皆さま、新年を新たな気持ちでお迎えのことだと思います。

昨年の元日に石川県能登地方を襲った能登半島地震より、ちょうど1年が経ちました。今なお多くの困難とご苦労を抱えながら避難生活をされている方々には、1日でも早く平穏な日々がとり戻されることを心よりお祈り申し上げます。

この東三河地域の豊橋市でも急速に進む高齢化社会・少子化、労働人口の急速な減少、日本の経済力の低迷、日本の財政問題、エネルギー環境への対応、気候危機・多発する災害、など難題が山積しています。

当院は、内科、外科、整形外科、脳神経外科などの急性期診療を担い、豊橋市内で豊橋市民病院の次に多い年間3500台ほどの救急車を受け入れる公的救急病院の機能を果たしています。また、緩和ケア病棟や重症心身障害者病棟なども有し、災害拠点病院としての役割を担っています。

現在、2040年に向けての新たな地域医療構想が国、愛知県など主導で議論されています。これから時代に向けて当院は、豊橋市民病院などと密接な連携を行って業務を行い、当地域の医療・介護領域での役割をしっかりと果たして地域医療に貢献していきます。

今年の干支は、巳年（みどし・へびどし）です。へびには、脱皮を繰り返して成長することや生命力の強さから、再生、復活、長寿を象徴し、縁起が良い生き物とされることもあります。私どもも、これから時代に待ち受ける困難・試練に直面しても、蛇のように粘り強く、力強く活動していきたいと思います。

昨年は、新型コロナ感染症で行えなかった健康フェスティバル、講演会など各種行事を再開しました。今年も地域の皆さんとますます交流を深めて、当院の姿や活動を知っていただきたいと思います。

引き続き地域の公的基幹病院として、皆さんに信頼され、地域に密着し社会に貢献できる総合病院として、当院の理念である「心のこもった医療」を提供できる病院となるように職員一丸となって頑張ってく所存です。どうぞ皆様の変わらないご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

外 来 紹 介

看護師長 中 井 朱 梅



2024年12月マイナ保険証が従来の保険証の代わりに利用できるようになりました。当院も、愛知県東三河南部の基幹病院としてより質の高い医療を目指し、地域医療連携を強化できるように、マイナ保険証の利用を推進しています。正確な情報を取得して活用していくためマイナ保険証のポスターを掲示し始めたころはまだ夏の暑い日でした。早いもので、感冒が流行る、空気が乾燥した時期となりました。まだまだ手指衛生やマスク着用など感染症への対応は必要ですが、必要な時に安心して医療を受けていただけるように引き続き感染防止に努めています。

外来では、時間内約23の診療科と救急外来、内視鏡検査や放射線治療、そして化学療法（抗がん剤治療）を急性期から慢性期の患者様の状態に合わせて行っています。



救急外来では、二次救急を受け入れ、東三河南部地区の地域の皆様を支えています。原則として救急搬送の方や緊急入院が必要な方等の重症患者さんを対象としています。救急車も豊橋市内に留まらず近隣の市外からの救急の受け入れもあります。転倒による骨折、睡眠時から起床時の脳梗塞や脳出血など寒い時期には十分気を付けて早めに受診をお勧めしています。



認定看護師による皮膚・排泄ケアや、がん薬物療法ケアなどを行っています。また、地域医療コーディネートを学びつつ、患者様が地域で安心して医療を受けながら生活していくように、外来スタッフは働いています。先生との話しだけではなく、いつもと違う様子、治療に前向きになれない、どうしたらいいのかわからない、そんなときに看護師は近くにいます。治療や病気の生活に不安や恐れもあると思います。ですが、外来での様子やお話を生活のための受診、入院そして退院後の生活へつなげること、地域の皆様の健康に貢献できるようにこれからも努力してまいります。



地域医療連携室だより

医療技術の高度化・細分化が進む昨今。医療現場では、患者さんが自分の状態に合った治療を適切に受けられるような体制づくりが求められています。「地域医療連携室」は、医療機関が情報共有したり、診療協力したりしながら、患者さんが適切な医療を受けられるようにサポートする部署です。

【地域医療連携室の役割】

地域医療連携室の役割は、大きく「前方連携」「後方連携」の2つに分けられます。「前方連携」とは患者さんが医療機関に受診・入院する際に行う連携のこと。また「後方連携」とは、患者さんの退院後の生活を過ごしやすくするために行う連携のことです。地域の医療機関が連携すると、患者さんとしては自分の状態に合った適切な医療が受けやすくなります。

【主な業務】

1. 地域の医療機関から紹介された患者様の予約受付、紹介元への情報提供
2. 他病院への紹介・転院依頼
3. 医療相談
4. 地域ネットワーク（共同診療、大型医療機器共同利用システム等）
5. 地域の医療機関に対する情報提供（病診連携カンファレンス開催等）

【各部門からのお知らせ】

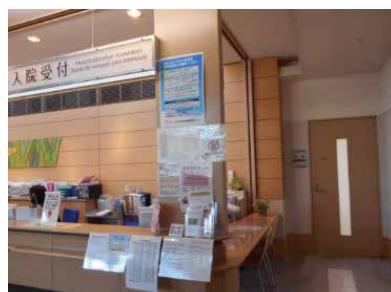
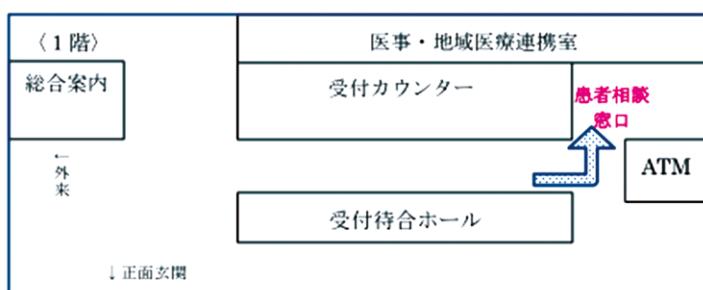
<病診連携>

気になる症状がある際など、かかりつけ医の先生にお気軽にご相談していただき、紹介状をお持ちになってご来院ください。病状やご都合に合わせ、最短の外来受診予約をお取りさせていただきます。

昨年度より、病診連携カンファレンスの開催を再開しております。当地域の医療の充実を目指し、なお一層の連携強化に努めてまいりたいと思います。

<医療相談>

突然の病気やケガで入院すると、様々な心配事がでてきます。当院では、専門の職員（医療ソーシャルワーカー、退院調整看護師等）が患者さん・ご家族の心理・社会・経済的なご相談に応じております。例えば、「病気に伴って気持ちが動搖し、落ち着いて治療が受けられない」「今の治療でよいのか不安」「退院と言われたが、退院後の生活や介護のことが心配」「リハビリ病院などの専門病院について知りたい」「医療費や生活費の心配がある」「保険や福祉の制度（介護保険・生活保護・障害手帳など）のことがわからない」「医療安全に関するご相談」「当院に関するご意見」など、隨時対応しております。



行ってみよまい！わくわく健康フェスタを開催しました

豊橋医療センター病院祭実行委員会

11月9日（土）、地域の皆様を対象とした、コロナ禍以降、約5年ぶりとなる健康フェスタを開催しました。

1年近くの準備期間を経て、薬剤師による調剤体験コーナー、栄養管理士によるお食事相談コーナー、臨床検査技師による顕微鏡体験、リハビリスタッフによる転倒予防教室、診療放射線技師による骨密度測定、看護師等による一次救命措置研修コーナーやお子様向けイベント、医師による市民公開講座や、地域ボランティアの方々による篆刻体験コーナー、院内コンサート、キッチンカーの出店、トヨッキー（豊橋市キャラクター）のお散歩など、多彩なイベントを企画することができました。

また、今回は豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部の学生さんにも、各イベントへの参加や当日の運営など幅広く活躍していただきました。

健康フェスタ当日は爽やかな秋晴れの中、多くの方々にご来場いただき、大盛況となりました。ご来場いただいた皆様、地域ボランティアの方々、豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部の学生のみなさんに改めて感謝申し上げます。

今後も一層楽しんでいただけるよう、様々なイベントを企画し、地域の皆様と交流できる機会を設けたい・・・と思っています。次回も是非お気軽に参加して頂ければ幸いです。





数年ぶりに看護師の復職を目指す方へ

実際にシミュレーターや機器で技術確認や職場体験をしてみませんか？

このような方

- 育児で現場を離れていたので心配な方
 - 介護で現場を離れていたので不安な方
 - 職場環境を知りたい方
 - 看護技術に不安な方
- など

☆ Aコース 9：30～12：00 技術練習

- ・9:30～9:40 病院の説明
- ・9:40～11:30 シミュレーターを使用して練習（採血・吸引・膀胱留置カテーテル）
- ・11:30～12:00 輸液ポンプ操作練習

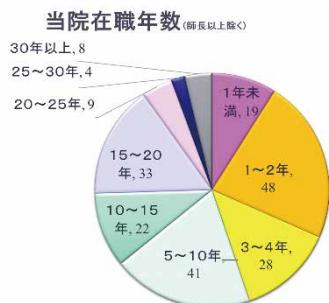
☆ Bコース 10：00～12：00 病棟体験

- ・10:00～10:05 病院の説明
- ・10:05～12:00 病棟にて電子カルテ操作や実際の看護場面見学など

☆ Cコース 10：00～15：00 技術練習と病棟体験

- ・10:00～10:05 病院の説明
- ・10:05～11:30 シミュレーターを使用して練習（採血・吸引・膀胱留置カテーテル）
- ・11:30～12:00 輸液ポンプ操作練習
- ・12:00～13:00 休憩
- ・13:00～15:00 病棟にて電子カルテ操作や実際の看護場面見学など

当院は、中規模の2次救急を行う急性期病院ですが、働きやすい病院です。急性期から慢性期の病棟と緩和病棟、重症心身障がい児（者）病棟があり、自分に合った様々な病棟で2交代3交代を選ぶことができます。国立病院機構ですので、福利厚生・ワークライフバランスの制度が充実しており、各年代の方が働いています。是非見学体験して、一緒に働きましょう。お待ちしております。日時は随時おこなっています。いつでも連絡ください。



問い合わせ先：

国立病院機構 豊橋医療センター



看護部長室 看護部長・副看護部長

TEL：(0532) 62-0301 (代表)

Mail : 314-nrdd@mail.hosp.go.jp

外 来 診 療 担 当 医 表

独立行政法人
国立病院機構豊橋医療センター

令和7年1月1日～

*受付時間は、8:30～11:00（再診予約専用電話 0532-62-1087 平日13:00～15:00） 電話：0532-62-0301

曜日	月	火	水	木	金				
診療科	診察室	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	(10) 第1	膠原病リウマチ内科	代謝・内分泌	膠原病リウマチ内科	一般内科	膠原病リウマチ内科		膠原病リウマチ内科	
		横井	濱嶋	横井	豊住	横井		横井	
	(10) 第2			第2・4水曜	腎臓			一般内科・血液内科	
				鳥山				恵美	
	(10) 第3	一般内科	第3火曜	代謝・内分泌		糖尿病・内分泌			
		豊住	武内			井手			
								14:00～15:00	
								肺炎球菌予防接種(要予約)	
脳神経外科	(14)	初診、予約外		初診のみ		酒井秀	初診、予約外		
		川崎		西村	交代制		山内		
	(15)	山内	初診、予約外			初診、予約外	加藤櫻	川崎	
神経内科	(16)					第1木曜	予約のみ		
						長島			
循環器科	(16) 第1	小林	岡田	横家	横家	横家	横家	横家	
	(16) 第2			柴田理				後藤	
	(16) ペースメーカー				第3・4週 横家				
心臓血管外科	(21)	10:00開始 鷺山							
整形外科	(17) 第1	初診、病診連携 稻本	初診、病診連携 村上	加藤	稻本	稻本	上用		
	(18) 第2	新開	竹内	初診、病診連携 奥村		竹内	奥村		
	(18) 第3	村上	柴田康		新開		加藤		
	(16) 第4	治験外来							
	(21) 第5						人工膝関節専門外来 柴田		
眼科	(19)	予約外は受付10:00まで 大高	予約のみ 大高	鳥居	清水	清水	検査のみ		
耳鼻咽喉科	(20)	山口	山口	山口	山口	山口	山口		
歯科口腔外科 (予約のみ)	(22)	湯浅	湯浅	湯浅	湯浅	湯浅	湯浅		
精神科	(23)		相樂			杉浦			
外科	(24) 第1		緩和ケア 伊藤武	緩和ケア 越川	越川	山下	安藤		
	(24) 第2	大本	稻岡	伊藤武	緩和ケア 越川				
	(26) 第3	乳腺専門外来 豊田	第1・3・5月曜 安藤	外科/消化器 市原					
	(30) 第4						後藤		
消化器科	(25)	山下 (予約枠は担当医師)			第1・3・5水曜 浅井			堀田	
呼吸器外科	(26)								
呼吸器科	(27)			第1・3水曜 三上		山田			
産婦人科	(28)	杉原	杉原	福田	杉原	杉原			
泌尿器科	(29)		日下	小嶋	河合				
皮膚科	(30)	予約のみ 羽根		第4水曜以外 白田	予約のみ 滝				
小児科	(31) 第1	慢性疾患のみ 西田 鈴木清	鈴木清	慢性疾患のみ 西田	慢性疾患のみ 西田	鈴木清	慢性疾患のみ 西田	鈴木清	
		13:30-14:30 予防接種(要予約)	13:30-14:30 乳児検診(要予約)						
放射線科	(30)		放射線治療 永井						